

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-039392

(43)Date of publication of application : 12.02.1999

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 09-191072

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 16.07.1997

(72)Inventor : UCHIYAMA HIROSHI

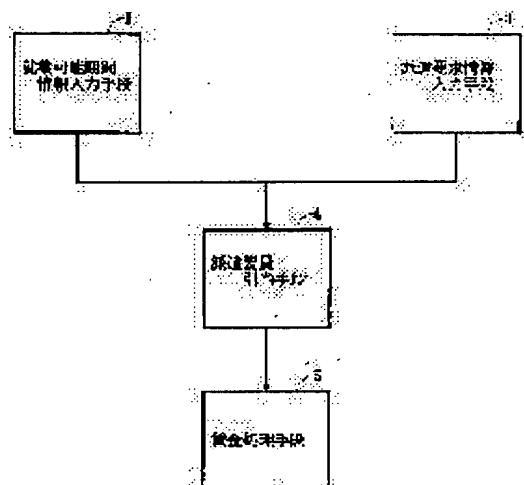
(54) TEMPORARY EMPLOYMENT MANAGEMENT SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To respect the personal convenience of a temporary employment personnel required, to improve the quality of a personnel required for a company and to make the office work of a temporary employment job efficient by retrieving the workable term information of each personnel required which is preliminarily inputted based on temporary employment information.

SOLUTION: A workable term information inputting means 1 inputs workable term information of each personnel required, and a temporary employment request information inputting means 3 inputs temporary employment request information that includes at least the work term of each personnel required. A temporary employment personnel required drawing means 4 retrieves the workable term information of each personnel required which is preliminarily inputted by the means 1 and draws a corresponding personnel required. A wage processing means 5 calculates a wage to a personnel required who is drawn by the means 4 based on the information of a work term that is inputted by the means 3.

These processing are realized by a computer program that is carried out on a computer which is used for general purposes such as a personal computer, a workstation and a general purpose computer.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

19.06.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-39392

(43) 公開日 平成11年(1999) 2月12日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 17/60

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21

Z

L

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平9-191072

(22) 出願日 平成9年(1997) 7月16日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号

(72) 発明者 内山 浩

東京都港区西新橋三丁目25番33号 株式会
社富士通東京システムズ内

(74) 代理人 弁理士 井桁 貞一

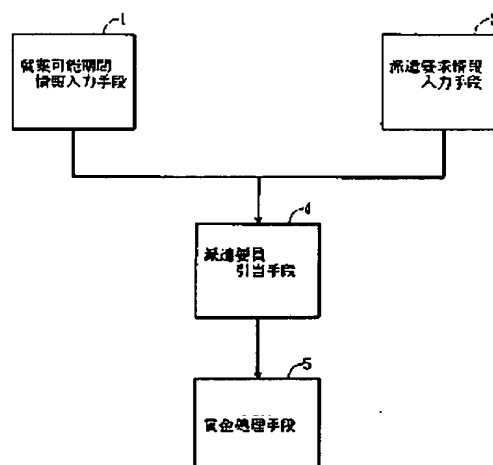
(54) 【発明の名称】 人材派遣管理システム

(57) 【要約】

【課題】 人材派遣管理システムに関し、適材を求める企業には必要なスキルの確保、派遣される要員には個人の予定を反映したタイムリーな派遣先確保、派遣業務に対しては売り上げ処理、資金処理の効率化を実現する手段を提供することを目的とする。

【解決手段】 各要員の就業可能な期間情報を入力する就業可能期間情報入力手段1と、少なくとも要員の就業期間を含む派遣要求情報を入力する派遣要求情報入力手段3と、上記派遣要求情報により、就業可能期間情報入力手段にてあらかじめ入力された各要員の就業可能期間情報を検索して該当する要員を引当てる派遣要員引当手段4と、上記派遣要員引当手段で引当てた要員への資金を、上記派遣要求情報入力手段3で入力された就業期間の情報に基づいて行う資金処理手段5とを備えるように構成する。

本発明の構成図



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 各要員の就業可能な期間情報を入力する就業可能期間情報入力手段と、
少なくとも要員の就業期間を含む派遣要求情報を入力する派遣要求情報入力手段と、

上記派遣要求情報により、就業可能期間情報入力手段にてあらかじめ入力された各要員の就業可能期間情報を検索して該当する要員を引当てる派遣要員引当手段と、
上記派遣要員引当手段で引当てた要員への賃金を、上記派遣要求情報入力手段で入力された就業期間の情報に基づいて行う賃金処理手段と、を備えることを特徴とする人材派遣管理システム。

【請求項 2】 コンピュータを、
各要員の就業可能な期間情報を入力する就業可能期間情報入力手段、
少なくとも要員の就業期間を含む派遣要求情報を入力する派遣要求情報入力手段、

上記派遣要求情報により、就業可能期間情報入力手段にてあらかじめ入力された各要員の就業可能期間情報を検索して該当する要員を引当てる派遣要員引当手段、

上記派遣要員引当手段で引当てた要員への賃金を、上記派遣要求情報入力手段で入力された就業期間の情報に基づいて行う賃金処理手段、として機能させるためのプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】特定の資格や素養を持つ人材や期間的な要求条件に合った人材あるいは一時的に大量に必要な人材などを確保するニーズを持つ雇用者と自分の能力、資格、特技を自分の時間的な都合に合わせて有効に活用したい人々のニーズを結び付けるために、公共の職業紹介所の他にも事前に登録された人材をプールして派遣する人材派遣業が存在する。また、自社の得意とする分野の技術や能力を社員を派遣することにより提供する会社もある。本発明はこのような人材の派遣業務に適用する人材派遣管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、人材派遣の業務は派遣可能な人材をプールしておき派遣の要請が発生すると上記派遣要員の中から派遣先の条件に近い要員を紹介し詳細の条件は個別にすりあわせて派遣契約を結ぶようにしていた。また、就業実績に対応した派遣先との売り上げ処理、派遣要員に対する賃金の支払処理は派遣要員が派遣先で勤務実績を記入したタイムカードを派遣先の現場担当者が確認して押印したものが通常、原票となっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、要員の割当については派遣先の要員確保の確実性向上の要求に木目細かく応えられない、すなわち、要員のスキルについて

2

の要求に対する幅度の向上が望まれており、また派遣を希望する要員がタイムリーに派遣先を確認して自己のスケジュールを決めることも難しかった。

【0004】また、実績をもとに行う請求処理や給与の支払などの賃金処理については、派遣要員の勤務実績の入力作業は上記派遣先の確認、押印を得たタイムカードを派遣要員が持ってこない限りは不可能であり、タイムカードの入力が一時期に集中することにもなり、入力ミスが発生しやすくなっている。

10 【0005】上記のような派遣要員の個人の都合の尊重と企業の要員確保の品質の向上と、派遣業務の事務効率化が課題でありその解決策が求められていた。本発明はこのような点にかんがみて、遣材を求める企業には必要なスキルの確保、派遣される要員には個人の予定を反映してタイムリーな派遣先確保、派遣業務に対しては売り上げ処理、賃金処理の効率化を実現する手段を提供することを目的とする。

【0006】

20 【課題を解決するための手段】上記の課題は下記の如くに構成された人材派遣管理システムによって解決される。

【0007】図 1 は、本発明の構成図である。図において、1 は各要員の就業可能な期間情報を入力する就業可能期間情報入力手段、3 は少なくとも要員の就業期間を含む派遣要求情報を入力する派遣要求情報入力手段、4 は上記派遣要求情報により、就業可能期間情報入力手段にてあらかじめ入力された各要員の就業可能期間情報を検索して該当する要員を引当てる派遣要員引当手段、5 は上記派遣要員引当手段で引当てた要員への賃金を、上記派遣要求情報入力手段で入力された就業期間の情報に基づいて行う賃金処理手段である。

【0008】

【発明の実施の形態】図 2 は本発明の実施の形態の構成図である。本実施の形態においては、パーソナルコンピュータ、ワークステーション、汎用コンピュータ等の汎用的な目的で使用される計算機上で実行するコンピュータプログラムにより実現する形態を示す。

【0009】本発明の人材派遣管理システムは、処理装置、主記憶装置、補助記憶装置、入出力装置などから構成される計算機上で、コンピュータプログラムを実行して実現される。また、コンピュータプログラムは、フロッピーディスクや CD-ROM 等の可搬型媒体やネットワーク接続された他の計算機の主記憶装置や補助記憶装置等に格納されて提供される。本発明の記録媒体は、上記可搬型媒体、主記憶装置、補助記憶装置に該当する。

【0010】提供されたコンピュータプログラムは、可搬型媒体から直接計算機の主記憶装置にロードされ、または、可搬型媒体から一旦補助記憶装置にコピーまたはインストール後に、主記憶装置にロードされて実行する。また、ネットワーク接続された他の装置に格納され

て提供された場合も、他の装置からネットワークを経由して受信後に、補助記憶装置にコピー、主記憶装置にロードされ実行するものである。

【0011】本実施の形態は要員をプールして企業からの派遣要請に応じて要員を派遣する派遣業のコンピュータによる業務処理システムの形態を示している。要員の派遣を要求する企業が必要な要員の資格の条件と必要な派遣期間とを登録する。一方、要員については個人単位で派遣されて就業可能な期間を登録する。また、就業を求める要員は事前に保有する資格をあらかじめ登録しておき企業が求める要員のスキルに対応可能か否かを判別できるようにしている。

【0012】まず構成について説明する。202は201から入力した企業からの派遣要請を格納する派遣要求情報DBであり、図3に構成を示す。204は就業を求める要員の就業可能期間を205により入力して就業可能期間情報DBとして格納するものであり、その構成を図4に示す。203は派遣可能な要員のスキルを保有する資格を記録して管理する資格情報DBであり、図5にその構成を示す。

【0013】206は派遣要求で指定された資格を持つ要員のIDを抽出する有資格要員ID抽出部である。208は派遣要求情報DB202と就業可能期間情報DBと206の有資格要員ID抽出部で抽出して一時記憶した要員リスト（不図示）から派遣要求の条件をみたす就業可能な要員を探して引き当てる派遣要員引当部である。引き当てた結果は派遣要員の一日ごとの勤務予定、実績を記録する形式に展開して構成する派遣管理情報DB209に図6のように格納する。

【0014】上記派遣管理情報DB209に展開された派遣予定情報はタイムカード予定記録部213によって出力して派遣要員にタイムカード217の形式で渡される。タイムカード217の形式は図7に示す。実績は実績修正入力部214で遅刻、残業の実績を記入したタイムカード217をもとに派遣管理情報DB209を修正して行う。

【0015】派遣先企業ごとに決まった日には派遣先の確認をとったタイムカード217を反映した派遣管理情報DB209から派遣作業実績を売上請求部211が処理して売上データ215を請求書として発行する。また、派遣した要員に対しては所定の支払日に賃金を支払うべく派遣管理情報DB209の実績データから賃金精算部212が給与データ216を出力する。

【0016】207、210は遠隔地（220の点線枠で示す）に所在する派遣要員との間で就業可能情報、派遣先の引き当て情報などの連絡を行うFAX端末、FAX入出力部を示す。

【0017】図8に派遣要員引当処理のフローチャートを示す。上記図2の構成の説明の中で示した図3から図7の説明図と合わせて派遣要員引当処理の動作を説明す

る。このフローチャートでは1件の派遣要求について就業を希望する登録済みの要員について資格条件、派遣期間等の条件の合うものを引き当てる処理の動作を説明している。実際には複数の企業からの派遣要求について同様に繰り返し、処理を進めることになる。

【0018】ステップS81では該当の派遣要求は資格を持っている要員を条件として探しているのか、条件の有無を調べている。図3は派遣要求情報DBの説明図である。（a）においてはM&A社、B社、C社が派遣を要請している派遣先会社であり、C社は既に派遣要員引当済みであることを示している。ここでは、派遣先IDが010012のM&A社が派遣を要請している。7月3日から7月10日まで英会話ができる要員の派遣要求情報の要員引当処理を例にとって説明する。

【0019】図3において派遣要求情報の資格条件1あるいは資格条件2のいずれかに指定がある場合にはステップS82で図5の資格情報DB203の説明図にある資格別保有要員のリストから指定された資格条件を持つ要員のIDを抽出している。資格条件がない場合にはステップS83で未引当就業可能期間情報から割当優先順に要員IDをリストしている。これらの要員リストは一時記憶して、以下の引当処理で要員IDに対応した就業可能期間情報を順次1個ずつ取り出している。就業可能期間情報DB204の説明図は図4に示してある。図4（a）においてはC社は引当済みの要員ID、901234と105680の要員がそれぞれ7月1日から9月30日、7月19日から8月28日までの期間働くことができるとして派遣先を探している状態を示している。

【0020】ステップS84では、さきに一時記憶した資格条件を満足する要員の候補リストから優先順に要員IDを取り出し、ステップS85でリストされた候補要員をすべて調べたかを確認している。

【0021】ステップS86では要員の就業可能期間が派遣要求期間を含んでいるか、すなわち派遣を求める企業の要求をみたしているかを調べる。みたさないときは次の要員を調べるためにステップS84に戻る。

【0022】期間がみたされたときにはステップS87で派遣要求情報DB202の引当欄に引当済みを書き込む。すなわち、要員IDが901234の要員が要求されている英会話のスキルがあり、就業可能期間も満足するので派遣要求元にM&A社に派遣するように引き当てたことになり図3（b）のように記録される。

【0023】また、ステップS88に示すように就業可能期間情報のうち引き当てられた期間については「済」とし、未引当分は新たな就業可能期間情報として追加登録する。すなわち就業可能期間情報DBにおいて図4（b）に示すように要員（ID901234）は7月3日から10日まではM&A社に派遣するとして引当済み、残りの期間7月11日から9月30日までは新たに就業可能であるとして派遣先を求めるとして登録する

ことになる。

【0024】図6は上記のように派遣要員の引き当てが終わったときに人材派遣業務は派遣の予定と実績を管理するために運用する派遣管理情報DB209の説明図を示す。具体的には要員IDが901234の要員のM&A社への派遣期間の1日ごとの予定が展開された形式になっている。図8のフローチャートでステップS89において派遣期間の1日単位に派遣先IDと要員IDを含む派遣管理情報を展開している。

【0025】以上のように派遣要員の派遣先を決定し、派遣管理DBで各要員の派遣予定と実績を管理するデータベース、派遣管理情報DB209が準備できた。この派遣管理情報DB209により実績を管理するとき、実績の入力は予定どおりならば何も行う必要がないが、実際には予定の勤務時間に対して遅刻したり、残業したりして差異が生ずる。そこで実績の管理は派遣先の担当者の確認を必要とするので、本発明においては上記派遣管理情報DB209の確立とともに予定が決まった時点でタイムカード217を出力して派遣要員に渡すことを実施している。

【0026】タイムカード217は図7に示すように派遣管理情報DB209に対応して勤務開始時刻、終了時刻の実績と共に遅刻、残業時間を記入して派遣先の監督者の証明を遅滞なく受けることができるようになっている。図7においては7月4日までの実績を記入した状態を示している。

【0027】派遣期間終了時あるいは派遣先との契約で定められた売上請求締日に派遣先の承認を受けたタイムカード217を原票として実績修正入力部214により派遣管理情報DBに記録されている予定勤務時間との差異のある部分のみ修正の入力を行い実績の勤務時間とする。このように一時期に集中する入力作業も売上処理のためのタイムカードの入力量を少なくし省力化することができる。また、同様に貸金精算部212による給与データ216の処理も同じ実績データを使用して行うことができる。

【0028】上記実施の形態の説明においては要員派遣を派遣を希望する要員をプールして派遣を要請する企業に派遣する派遣業の場合を示したが、1企業の中の1部門の派遣業務例えば、ソフトウェア会社の開発要員の企業への派遣などについても同様な効果を期待できる。

【0029】上記に説明したような個人の都合に合った条件の職をもとめる人たちの都合にあった派遣先をタイミング良く探すためには、各個人は一般的には派遣業務を行う部門とは離れたところに所在するので図2に示したようなFAX端末207を利用して遠隔地から自分の予定を登録したり、上記説明したように派遣先が見つかったときの予定の連絡を行うことにより個人の行動の自由の確保と機会獲得のチャンスを有効に得ることができ、更に効果を高めることができる。

【0030】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように本発明によれば、必要なときに人材を求める企業に必要なスキルを持った要員の確保、派遣される要員にとっては個人の予定を反映してタイムリーな派遣先確保、派遣業務処理には派遣実績の確定など売り上げ処理の効率化の実現、などにより人材の有効な活用や企業の生産性の向上という工業的效果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の構成図

【図2】 本発明の実施の形態の構成図

【図3】 派遣要求情報DBの説明図

【図4】 就業可能期間情報DBの説明図

【図5】 資格情報DBの説明図

【図6】 派遣管理情報DBの説明図

【図7】 タイムカードの説明図

【図8】 派遣要員引当処理のフローチャート

【符号の説明】

- 1 就業可能期間情報入力手段
- 3 派遣要求情報入力手段
- 4 派遣要員引当手段
- 5 貸金処理手段

【圖2】

本発明の実施の形態の構成図

【圖3】

(2)

(b)

【図4】

(5)

(b)

【图5】

資格名	資格 コード	要項 ID	取得年月日
英会話	031	901214	1996.2.15
英会話	031	200455	1997.4.15
オペレータ	012	200455	1997.2.19
オペレータ	012	135005	1997.7.10
新卒師	025	105580	1996.3.20
新卒警	045	135005	1990.1.27
普通自動車	037	901234	1989.8.28
普通自動車	037	200455	1990.5.11
...

【図6】

派遣管理情報DBの説明図

要員ID	派遣月日	職	派遣先ID	姓	氏名	派遣終了日	賃金計算日
...
901234	1997.7.3	木	010012			1997.7.15	1997.7.20
901234	1997.7.4	金	010012			1997.7.15	1997.7.20
901234	1997.7.5	土	010012	休日		1997.7.15	1997.7.20
901234	1997.7.6	日	010012	休日		1997.7.15	1997.7.20
901234	1997.7.7	月	010012			1997.7.15	1997.7.20
901234	1997.7.8	火	010012			1997.7.15	1997.7.20
901234	1997.7.9	水	010012			1997.7.15	1997.7.20
901234	1997.7.10	木	010012			1997.7.15	1997.7.20
...

【図7】

タイムカードの説明図

1997年 7月分 タイムカード

要員名 K (901234)

派遣先 010012 派遣先担当者名 印

派遣月日	開始予定	終了予定	開始実績	終了実績	遅刻	残業
1997.7.3	09.00	17.00	8.50	18.35		1.30
1997.7.4	09.00	17.00	9.10	17.05	0.10	
1997.7.5	休日	休日				
1997.7.6	休日	休日				
1997.7.7						
1997.7.8						
1997.7.9						
1997.7.10						

【図8】

派遣要員引当処理のフローチャート

